

る大雨で堤防が壊れた場合の洪水を想定して、「洪水ハザードマップ」の作成に取り組み、平成19年に皆さんに配布しました。

洪水ハザードマップは、利根川7か所、江戸川9か所、利根運河6か所において、堤防が個々に決壊した場合に浸水する可能性のある範囲を、浸水の深さごとに色分けして地図に表示したものです。

マップには、市民の皆さんの避難に役立つように、作成にあたり見直された各地域の避難場所や、避難時の危険箇所、洪水予報や要援護者を



はじめとした市民への避難情報の伝達方法なども記載してありますので活用してください。



なお、マップは、市役所（1階行政資料コーナー）、2階市民生活課、管理課、関宿支所、各出張所、各公民館、各コミュニティ会館、総合福祉会館にて配布しています。

水路の改修で 浸水を解消へ

合併に際し、六丁四反水路を改修して浸水被害を解消することを、新市建設計画の重要課題の一つと位置付けました。

六丁四反水路は、親野井地区から船形地区へ通じる全長約7.7キロメートルの水路で、昭和40年代以降、宅地造成に伴い、水路に流れこむ水量が増し、夕立程度の雨でさえ被害をもたらすようになりました。

市では、平成15年度から浸水箇所の調査や解析に取り組み、水路の拡幅、調整池工事などを実施しています。16年の台風による記録的な降雨で、次木・親野井・東宝珠花・木間ヶ瀬地区など広い範囲が浸水に見舞われました。そこで、国土交通省と協議を進め、共同工事により19年末に、江戸川へ排水を行うためのポン

プ排水施設を整備するとともに、同年から下流部分の県立関宿高校付近までの千820メートルの区間で、同水路の改修工事を進めることとしました。

これまでに、向之内橋南側までの903メートルの区間で改修工事を行い、全体の約49パーセントが完了しました。本年度は、390メートルの区間を改修し、全体の約71パーセントが完了する見込みです。

また、関宿高校付近に2か所の調整池の整備を進めており、浸水被害の早期解消に向け、本年度も引き続き事業を進めていきます。



改修が進む六丁四反水路